

# ベラルーシ公開情報とりまとめ

(5月1日～5月7日)

2023年6月2日  
在ベラルーシ大使館

## 【主な出来事】

●ベラルーシはロシアからの陸路での入国にあたり、国境検問を再開(5月5日)

## 【ルカシェンコ大統領動静】

●国境の安全確保とその防護に向けた具体的措置に関する会合

・大統領は政府と治安機関に対し、ベラルーシ国内で破壊活動を発生させないため、国境における深刻な事態に備えるよう指示。

(5月2日 大統領府)

## 【外交】

●5月3日の世界報道自由デーに寄せ、欧米の在ベラルーシ大使館等がベラルーシのジャーナリストとの連帯を示す運動を展開

・米国大使館、欧州連合(EU)代表部、スロバキア大使館等がSNSを通じて連帯をアピール。

・フランス外務省は、特にアフガニスタン、ロシア、ベラルーシ、マリでの報道の自由に対する制限を非難。

(5月3日、4日 BPN)

●在香港・ベラルーシ総領事館が開館

(5月4日 外務省)

●欧州安全保障協力機構(OSCE)モスクワ・メカニズム専門家グループは、ウクライナのロシア軍占領地域からの子どものロシア・ベラルーシ領への連れ去りを戦争犯罪と評価

(5月4日 欧州安全保障協力機構、「ゼルカロ(鏡)」)

●ベラルーシは、英国王チャールズ3世の戴冠式に招待されず

5月4日、アフマド英外務・英連邦・開発閣外大臣は、戴冠式への招待国に関する英国議会議員からの質問に対し、アフガニスタン、ベラルーシ、ミャンマー、ロシア、シリア、イラン、ベネズエラには招待状を发出

していない旨回答。

(5月4日 英国議会、「ゼルカロ(鏡)」)

●オーストリアとドイツは、ナチスドイツからの解放記念式典にベラルーシ・ロシア両国を招待しない旨発表

(5月5日 BPN、「ゼルカロ(鏡)」)

●ベラルーシはロシアからの陸路での入国にあたり、国境検問を再開

・国家国境委員会は照会に対し、ベラルーシ・ロシア両国の査証の相互承認協定を踏まえ、一定の措置が講じられており、国境検問の再開は一時的なものであるが、いつまで続くかは不明である旨回答。

(5月5日 「ゼルカロ(鏡)」)

## 【内政】

●親政権政党「ベラヤ・ルシ」が正式に登録

(5月2日 法務省)

●政治犯ロマン・プロタセヴィチ氏に8年の自由剥奪刑(強化刑務所)

・同氏は反体制派メディア「NEXTA」の創設メンバー。2021年5月23日に発生したライアンエアー機強制着陸事件の際に交際相手とともに拘束されていた。

・5月22日、大統領により恩赦。

(5月3日、22日 国営ベルタ通信、「ゼルカロ(鏡)」)

●政治犯ヴィクトリア・クリシャ氏に対する虐待

・同氏はグロドノ州ザレチエの第24女性刑務所に収監中。衆人環視の中で侮辱されたり、殴打されたり、90日以上にわたって懲罰房に送られる等していた。

・同氏は、抗議のためハンガーストライキを実施。それにより、心臓発作が2度発生。

・同氏には、刑務官への不服従を理由に刑期が追加され、4年半となっている。また、家族や親族からの手紙も届いていない。

(5月7日 人権団体「ヴァスナ(春)」、「ゼルカロ(鏡)」)

### ●5月7日、政治犯ニコライ・コズロヴィチ氏がヴィテプスク第3刑務所で死亡

・死亡時の状況や死因は不明。同氏は、大統領を侮辱したとして1年の自由剥奪刑に処されていた。同氏には脳出血と心臓疾患による障がいがあるため、公判中に弁護士は、刑務所での服役は同氏にとって致命的であることを再三強調していた。

・チハノフスカヤ民主勢力代表、ラトゥシコ元文化大臣、ペイチノヴィチ・ブリッチ欧州評議会事務局長らが弔意を表明。

(5月7日、8日 人権団体「ヴァスナ(春)」、BPN、チハノフスカヤ氏公式サイト、ラトゥシコ氏 Twitter、ペイチノヴィチ・ブリッチ氏 Twitter、「ゼルカロ(鏡)」)

### ●5月5日現在の政治犯の数は1,499人

(5月5日 人権団体「ヴァスナ(春)」)

## 【治安・軍事】

### ●露ブリャンスク州で、「ベラルーシ鉄道(BelZhD)」のゴメリ発ブリャンスク行き貨物列車が脱線

・同貨物列車から50mの場所で爆発。78両中8両が脱線。運転士らは無事で、ベラルーシに帰還。

・消火復旧作業が行われ、「ベラルーシ鉄道」ゴメリ支社の代表が現場検証に参加。ロシア捜査委員会は刑事事件として捜査を開始。

(5月1日 運輸交通省、「ゼルカロ(鏡)」)

### ●リトアニアの国境警備隊は、ベラルーシからの大量の医薬品の密輸を摘発

・ベラルーシからリトアニアに移動する車の中から、1,365箱の医薬品を発見。

・処方箋を必要としない医薬品の持込みは、1回あたり10箱までと限定されている。

・リトアニアの税関は、同国への医薬品の持込みは禁

止されていないが、税関の職員が処方箋または当該量の医薬品が治療のために必要であることの証明書の提示を求めることもある旨注意喚起している。

(5月4日 BPN)

### ●中東からロシア・ベラルーシ経由で欧州入りする不法移民の増加

独「ビルト」紙ロシア語版は、ドイツ連邦警察の発表を基に要旨以下を報じた。

・2023年3月に欧州連合(EU)入域を阻止された中東からの不法移民は、前年同月比60%増の合計22,500人。その多くはトルコから来ているが、ギリシアまたはロシア経由で欧州を目指す者もいる。

・現在、トルコには中東の他の国からの移民が約400万人いるが、最近そうした移民にロシアの査証が多数発給されており、不法移民がロシア・ベラルーシを経てEUに違法に入域した後、ポーランド・チェコを経てドイツに流入している。

・こうしたルートがSNSで盛んに宣伝されている他、トルコからロシア・ベラルーシに不法移民を運ぶ特別便が飛んでいるとされる。

(5月3日 独「ビルト」紙ロシア語版)

### ●ベラルーシからポーランドへの不法移民の増加

ミハウスカ・ポーランド国境警備隊報道官は、ポーランド「ジェチポスポリタ」紙の取材に対し、要旨以下を述べた。

・不法移民の幫助による逮捕者数は、2022年通年で401人だったが、2023年は5月4日現在既に280人。

・幫助者の多くはウクライナ人、ウズベク人、ジョージア人、ポーランド人でベラルーシ人は多くない。

・ポーランド・ベラルーシ国境で確認された不法移民の数は、2022年通年で15,700人だったが、2023年は5月4日現在既に8,300人。

・不法移民の流入経路は、2021年は直接ベラルーシ入りしてポーランドに入ろうとしていたのに対し、現在は、まずロシアに入ってからベラルーシを経由してポーランドに入ろうとするようになっている。

(5月5日 BPN)

### ●ベラルーシから欧州への不法越境の試み

(5月1日～5月7日)

- ・リトアニア国境警備局は少なくとも35人を阻止。
- ・ラトビア国境警備隊は少なくとも509人を阻止。
- ・ポーランド国境警備隊は少なくとも662人を阻止。

(5月1日～5月7日 BPN)

### 【経済】

#### ●国営大手3銀行が財務諸表の発表を停止

・「ベラルスバンク」、「ベラルーシ農工銀行(ベルアグロプロムバンク)」、「ベラルーシ投資銀行(ベルインヴェストバンク)」の3行では、自行サイト上での財務諸表が非公開または更新されていない。ベラルーシの銀行全体に占める3行の資産の割合は70%以上。

・「国立銀行(中央銀行)」のサイトでは、例年4月にベラルーシの銀行の前年の財務諸表が公開されてきたが、5月2日現在も非公開。国立銀行広報部は、各行から国立銀行には十分に情報が提供されており、それによってしっかりとした監督を行うことができているとした上で、情報をどの程度開示するかは各行の判断による旨付言。

(5月2日 インターファクス)

#### ●スノプコフ第一副首相は、カリウム鉱石の選鉱施設「ネジン選鉱コンビナート」(ミンスク州リュバニ地区)の建設再開を発表

(1)スノプコフ第一副首相は要旨以下を述べた。

- ・大統領は、2025年6月1日までに同コンビナートの操業を開始させるよう指示。
- ・本プロジェクトの最短での竣工のため、本格的な資金調達の再開に向けた活発な取り組みが進んでいる。
- ・本件を再開できたのは、大統領が3月初頭に中国を訪問して中国当局と会談して以降。

(2)同コンビナート建設を巡る動き

- ・2016年に着工。「スラヴカリ」が発注し、元請けは中国企業「中国能源工程集团有限公司(中国能源China State Energy Engineering Corp.)」。2021年竣工を目指して建設が進められてきた。
- ・「スラヴカリ」の所有者であるグツェリエフ氏はロシア人のオリガルヒで、ルカシェンコ大統領に近いとされる。

・報道によれば、工期がずれ込んでいるのは、「スラヴカリ」が西側による制裁対象になったことから、中国側が資金提供を中断したためとされている。

(5月2日 国営ベルタ通信、「ゼルカロ(鏡)」)

#### ●イランの自動車メーカーSaipa は、ベラルーシ・ロシア両国に合計45,000台の乗用車を輸出する旨発表

・契約金額は、約4億5,000万ユーロ。

(5月4日 BPN)

#### ●輸入代替の現状

チェボタリ第一経済次官は、経済フォーラム「輸入代替:新たなプロジェクト、新たな可能性」において、要旨以下を発言。

・過去6年でベラルーシにおける輸入代替製品の生産は約2倍に増加。現在、輸入代替に携わる企業は2,500社以上で、その3分の1以上は中小企業。

・輸入代替プロジェクトを円滑に実施する上での政府の課題は、①国産化率の向上、②国内産原料の十分な加工を通じた新製品開発、③産業協力への中小企業の参画、④ロシアとの効果的な連携構築、⑤国家輸入代替プロジェクトの実施、⑥中国との戦略的パートナーシップの内容の確定。

(5月5日 経済省)

### 【抗議勢力の動き】

#### ●チハノフスカヤ民主勢力代表のアイルランド訪問(5月2日～4日)

・ティペラリー平和賞を受賞。ベラルーシの政治犯全員に献呈。

・ヒギンズ大統領、ヴァラツカー首相、マーティン外務大臣、上下両院議長、ダブリン市長らと会談。またアイルランド在留ベラルーシ人とも面談。

(5月2日～4日 チハノフスカヤ氏公式サイト)

#### ●バストゥネツ「ベラルーシ・ジャーナリスト協会(BAZh)」会長は、ベラルーシ人ジャーナリストの現状につきコメント

・2020年の大統領選挙後、500人以上のベラルーシ人ジャーナリストが国外へ移住。

- ・現在も、独立系メディアの関係者 33 人が投獄中。
- ・あるジャーナリストが釈放されると、別の人物が拘留されるという状況が見られ、自由剥奪刑の年数も長い。(5 月 3 日 BPN)

**【その他】**

**●2023 年の「報道の自由度ランキング」でベラルーシは 180 か国中 157 位**

- ・2022 年は 153 位だったが、集計法の変更によるもの。
- ・拘束されているジャーナリストの数では 5 位。特に女性ジャーナリストの拘束が目立っている。国境なき記者団は、2020 年の大統領選挙後の抗議活動で女性が顕著な役割を果たしたため、当局が衝撃を受け、締め付けを強化した旨指摘。(5 月 3 日 国境なき記者団、BPN)

**●共和国衛生・疫学・公衆健康センターは、食品を販売する 598 の施設の 98%で違反を確認**

- ・4 月に検査を実施し、安全ではない食品 3.3 トン以上の販売を差し止め。
- ・主な違反は、生産管理の不履行、食品原材料及び食品の表示に関する違反、設備・用具・容器の衛生管理の不徹底、食品の保存状況や消費期限に関する違反、品質や安全性を保証する証明書を欠いたままでの食品の販売、不十分な包装等。
- ・店内で調理した惣菜・菓子類・パン類を販売する事業所の 7 件に 1 件が、微生物に関する基準に違反。
- ・このような違反に対し、罰金や生産停止、商品の販売停止等の法的措置がとられた。(5 月 3 日 共和国衛生・疫学・公衆健康センター)

**●米国国際宗教自由委員会(USCIRF)の年次報告における、ベラルーシにおける信教の自由の状況**

- ・2020 年以降、20 人以上のキリスト教の宗教指導者が、政治活動の疑いで拘束され、一部は国外亡命を余儀なくされた。
- ・ベラルーシの兵士の母 4 人がミンスクの聖霊大聖堂での平和への祈りに参加したとして拘束された。
- ・2023 年の刑法改正により、「宗教団体を含む、未登録または強制的に閉鎖された非政府組織が個別の活

- 動を行った場合、罰金または 2 年以下の自由剥奪刑という形で再度刑事責任を負う」ことが定められた。
- ・2020 年のルカシェンコ体制に対する大規模な抗議の象徴となっていた聖シモン・エレナ教会は、「謎の火災」の後閉鎖された。当局は同教会がいつ再開するのかにつき明らかにしていない。(5 月 4 日 米国国際宗教自由委員会(USCIRF)、BPN)

**【統計等】**

**●2022 年の学術に関する統計**

修士課程在学者	44,000 人
修士課程修了者	796 人
修士号取得者	308 人
博士課程在学者	703 人
博士課程修了者	112 人
博士号取得者	48 人
学術研究関係者	25,200 人(448 団体)
	研究者 65.1%
	技術者 7.6%
	支援員 27.3%

(5 月 4 日 国家統計委員会)

(了)